

京都大学iPS細胞研究所 所長室 基金グループ長 渡邉文隆

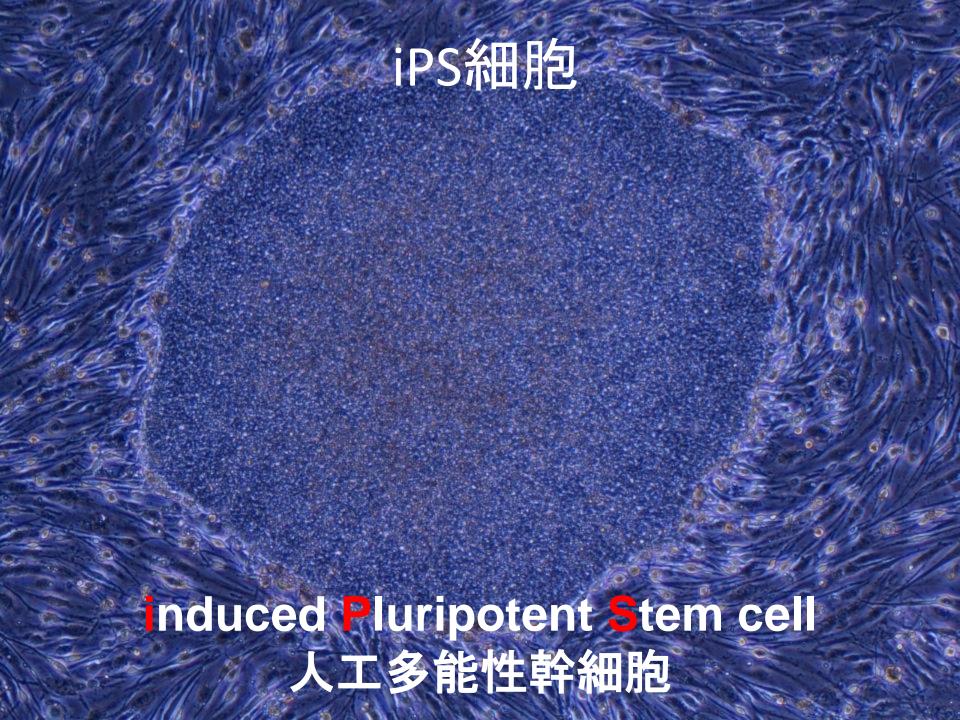
#### 本日のお話

1. iPS細胞とiPS細胞研究基金について

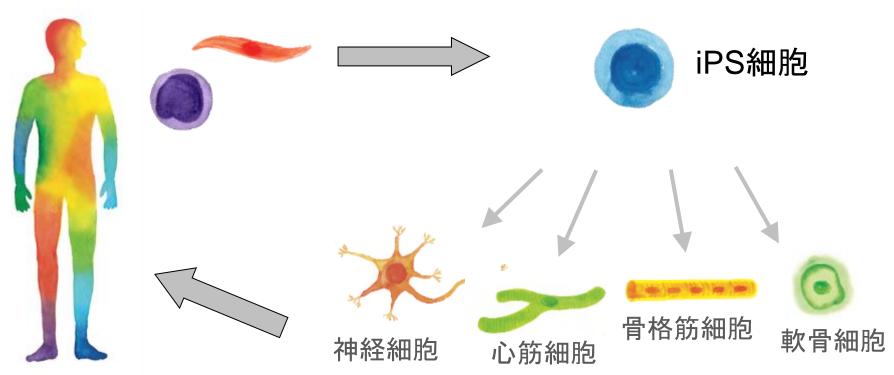
2.「1人目のファンドレイザー」とTOCとの出会い

3. ボトルネックに着目した ファンドレイジングの取り組み

# 1.iPS細胞とiPS細胞研究基金に ついて



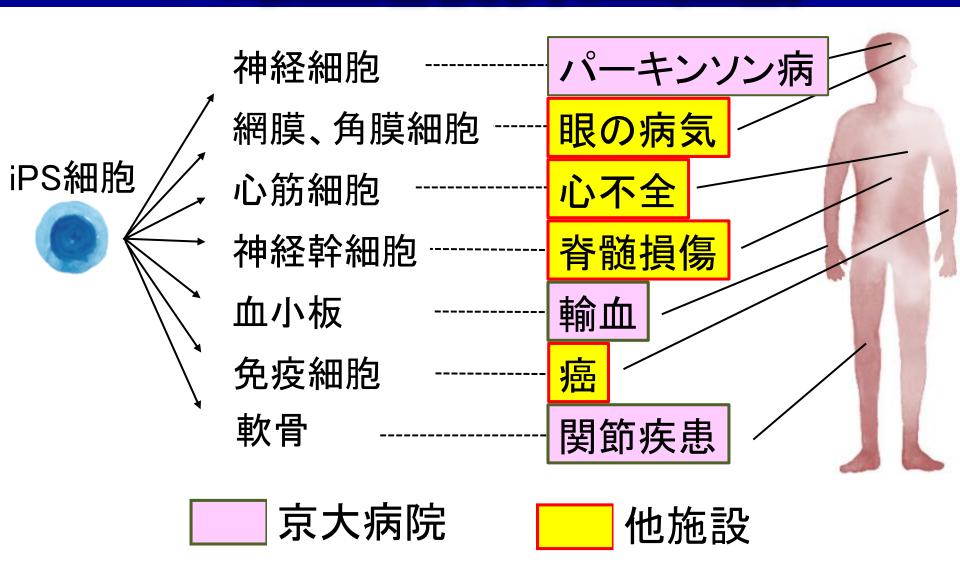
# iPS細胞の医療応用



再生医療 (細胞移植治療)



# iPS細胞を使う再生医療



# iPS 細胞研究所(CiRA)



## 目標達成に必要な人材

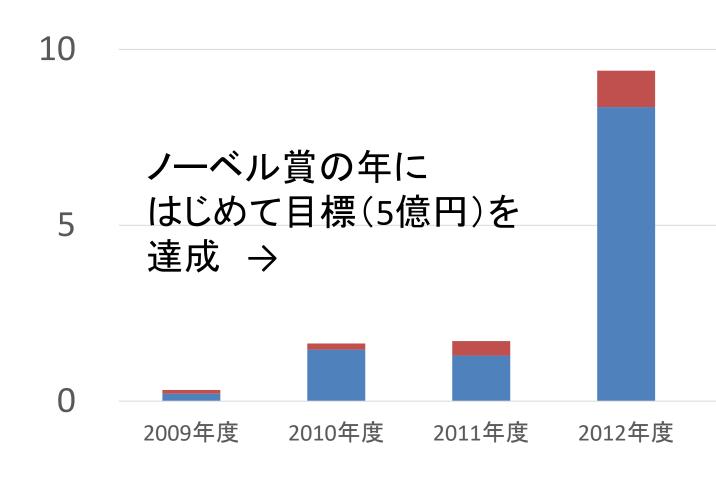




#### iPS細胞研究基金とは

- 2009年、京都大学基金の中に設置 目標は年間5億円
- ・特許の確保・維持、教職員の長期雇用、 リスク対策等に活用
- ・研究環境の整備、研究の加速が目的

### 2012年度までの寄付金額の推移



#### 2. 「1人目のファンドレイザー」と TOCとの出会い

## 着任した担当者と配属先

・ 社会人7年目。前職は環境ベンチャー企業で 広報・マーケティング・ウェブ担当。

あしなが学生募金ボランティアリーダー、 その他NPOの寄付募集支援経験あり

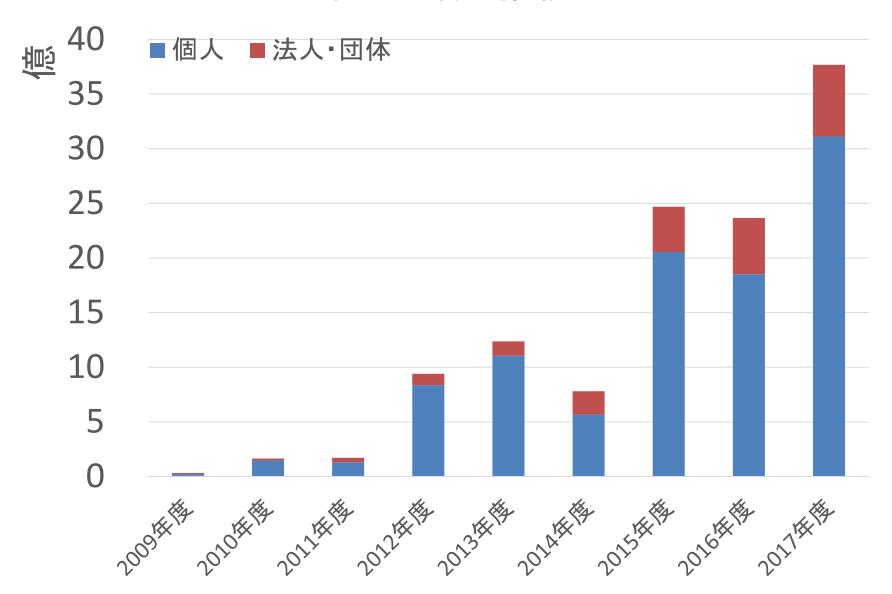
#### TOCとの出会い

- ・人数が倍増したのに、研究成果が倍にならない・・・
  - → ボトルネックとは、もっとも希少なリソース。

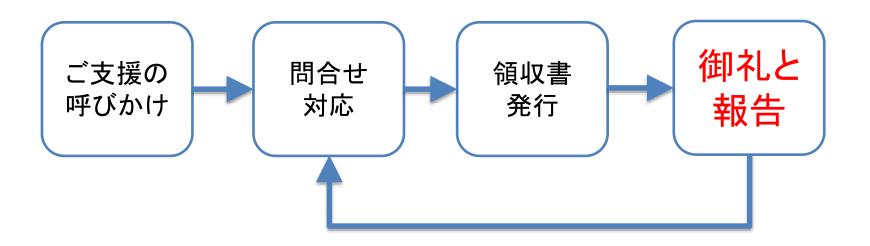
- ・寄付募集、何から手をつけるべきかわからない・・・
  - → ボトルネックを特定し、処理能力を増やせ

# 3. ボトルネックに注目したファンドレイジングの取り組み

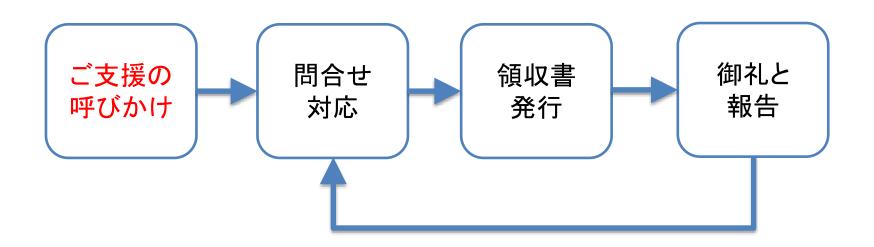
#### 寄付金額の推移



# 1. 既存寄附者へのアプローチ

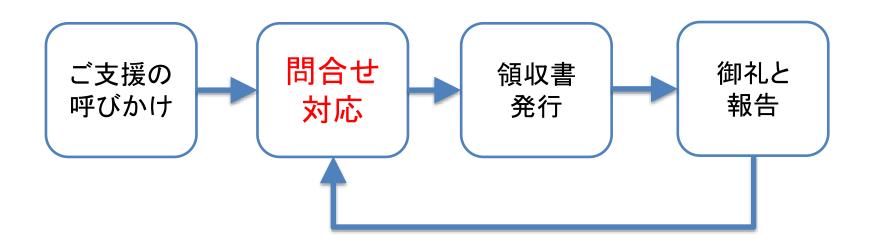


#### 2. 共感してくださる方への認知拡大



これまで寄付を下さった方と同じような方々に 知っていただけるよう、寄稿、講演、取材の セッティング、チラシ配布を行った

### 3. 問合せ対応能力の拡充

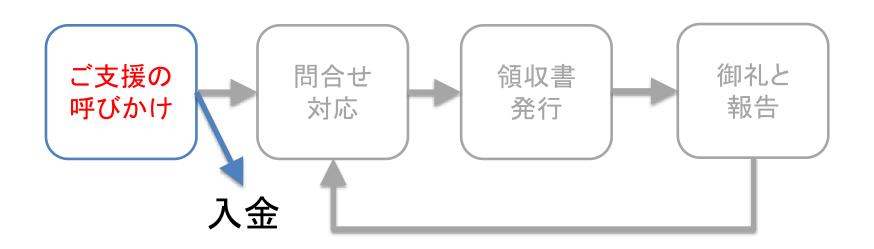


-フリーダイヤルの設置

講演での露出 メディアへの露出 → 呼びかけの量を増加

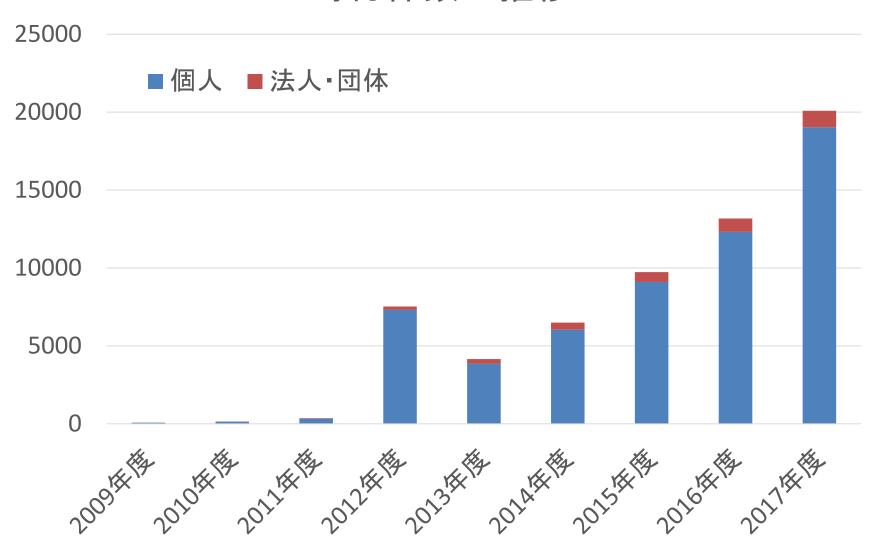
# 資料請求専用フリーダイヤル

### 4. 少額寄付対応、認知度向上

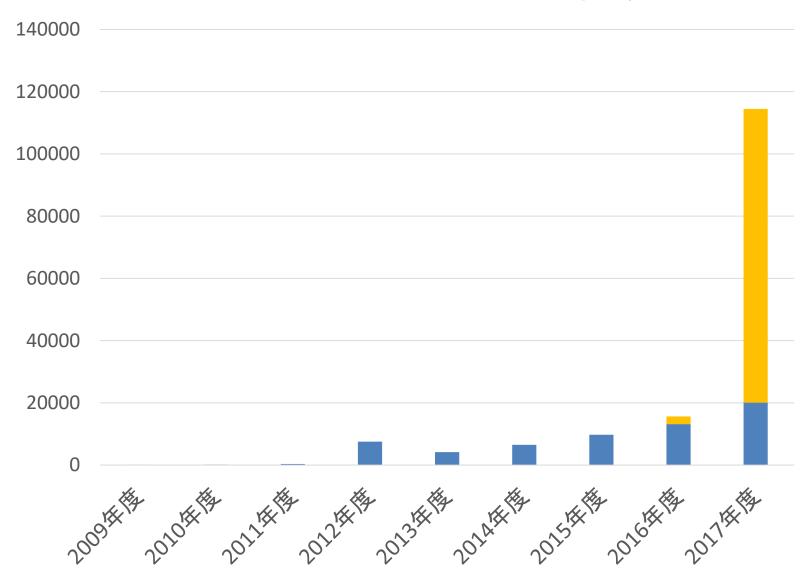


・ポイント寄付 カタログ寄付 Yahoo!ネット募金

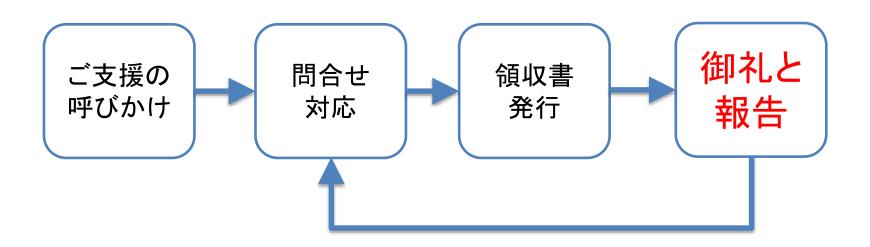
#### 寄付件数の推移



#### ポイント寄付を加えた寄付件数

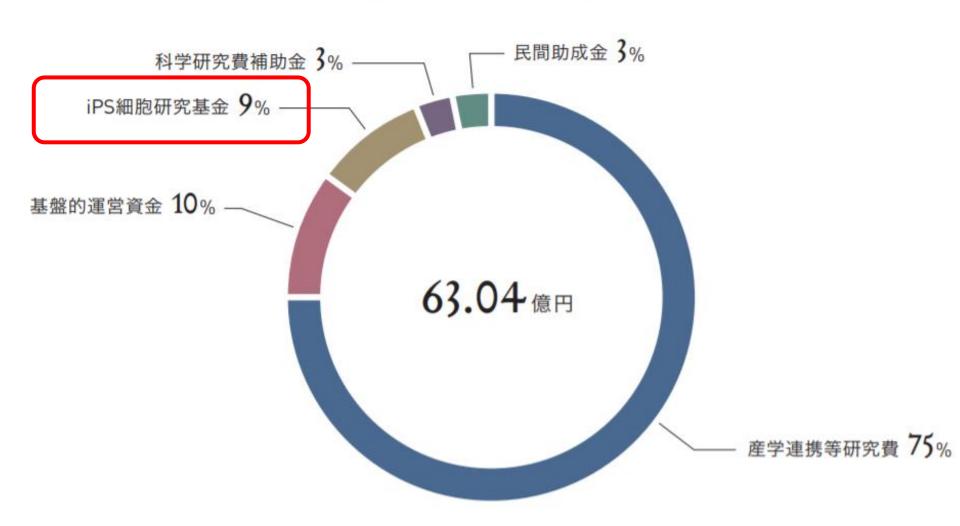


# 5. 御礼と報告の充実



# iPS細胞研究基金

年間予算執行(2017年度)



# 岸良先生・ラミ先生からの言葉

- 十分に高い目標を持つこと
- •科学者のように考える

#### 全体最適を目指して

- 寄付金をお預かりして基金の周知広報に 臨むならば、その活用方法は科学的に 妥当であるべき
- 科学者のように考え、再現性の確保を目指すことで 研究所のボトルネックを解消したい

- ・寄付者、患者さん、医療従事者、研究者の夢に、
  - 一般の方々にも参加していただけるようにしたい



# ありがとうございました

iPS細胞の医学応用を目指し、全力を尽くします

